第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

※「介度保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省名健局介度保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成 第 7 期介護保険事業計画に記載の内容							
保険				日標		自己	
高知知	区 ①接予度	いきいきと事らし続けられる ・ 一般素力の損害増進・社会参加による健康寿命の維持向上及び介援予防の推進~ ・ 一般素力の損害増進・社会参加による健康寿命の維持向上及び介援予防の推進~ ・ 介護予防・日常生活開催ニーズ調整からは、運動器機能リスクのある高齢者の割合が高い地域ほ と、閉じこもリリスクや認知症リスクも高まる傾向が強くみられる。 高齢者の良野する恵見及後々は、高齢者の配く業長に関する免費や支援活動か必要性に関する恵見 が多く出された。 20生活支援・ロックの充実。 この主要・ビルマの充実。 この主要・ビルマの充実。 この主要・ビルマの大では解決できない様々な問題も、ご近所づきあいでの助け合いや地議組織 での主要をし、ボランディアやNPO上人等の支援等、互助の力によって解決できる現状がある。 ご商用をがませなる地域にあるを指す。 本市には住民主と体の入りの受場的が割め、所ある。その場場のアンケート調査の結果から、体理 「日本化学など、様々な互助の活動が行われていることが分かった。	接を継続できる仕組かぶり、低半要予防の普及啓発、健康講座による啓免いきいき健康チャレン 少の音及、健康制度の実施 2.生活支援サービスの実業 第一個組織を回路を発売を開発している。 第二個組織を回路を発売している。 第二個組織を回路を発売している。 第二個組織を回路を発売している。 第二個組織を回路を が開発している。 第二個組織を	(事業内容、指揮等) ①健康づく(の推進: しきいを自産体験参加者数 9,000人/年(平成22年撰至予定) しきいを百度体験参加者数 9,000人/年(平成22年撰至予定) ②生活支援サービスの享集: ②生活支援サービスの享集: ⑦選予治等サービスの事業 (15人) 3,5年間(平成22年度末) ①指型治療・ビスの事業 (15人) 3,5年間(平成22年度末) ①指型(別集集中)・申集系の創設 (15人) 3,5年間(平成22年度末) 人格型(人員基準制)・事業所(30人) 3,5年間(平成22年度末) ○指型(別期集中)・申集系の創設 (1事業所(平成22年度末) ②市民が生化なの地球活動の開発: 地域でのボンティア参加割合(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より) 15%[平成22年度末]	実施内容 一部産生化・砂田香生・ 一部産体性・いきいきは、参加者数、金増(+10か所)ともに増、・ウストラクターの新規養成(いきいき 38名、かみかみ7名)により会職支援を充実。 二つち実施すイレージ・登録者も427名、交換決定者281名(1429)。選売商品のうち、新規となる市内事業所のポイン大発について協議を実施、詳細について検討中。 いきいき直接体接かわる数 7.380人 年		③健康づくりの推進: 「面接体接金措置変支援体制の充実か今後の課題。(古世話校の高齢により、古世話校の高齢により、古世話校の高齢により、お世話校の高齢により、お世話の一個様体に関する砂乗池動が不十分なため、普及啓保にもかまえれてい、「スの完美」、一世の大学を大学となり、内容の重複等が発生、地域の活動支援を指数の機関が行っており、内容の重複等が発生、地域で活動支援を指数の機関が行っており、内容の重複等が発生、地域で反射、対域を対象が表
高知知	①自介 · 重 · 防 · 防 · 防 · 防 · 防 · 防 · 加	平成 37 (205) 報じは福島者の5人に1人が設施になると予測される。接触になっても私の機能と地域で 定むして高く。地域であるためには、接地位のといば場を立め、送地位の単胞節等・平均的に同けた支援体制 の重度の多介接状態になっても安心して暮らし続けられる支援・ 平成 29 年度 在他選集に関するアンケート(1920度と使分けいる人対象)では、将来液たきりになった場合 にしくは今後)、生ましたい場所として、「できる部分をです等らしたり」と問意した人は、50%をなった。 を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	材センター「ワンコインサービス」 「登場地位になった安して書も出来が、一一、ステップファブ研修、歴知症地支支護者差異の形態、歴知 をアナノスの事念、歴知症別議事で支援の実施、歴知症制護事を支援デール複数容易会の設備、疑知症 の人の実施が実施、明報的でも他で、40の推進、地球の近距症患者を支援デールターの自然免 を関係しない。 は、1000年の人の支援 連盟の多分性状態になったならして書い。 は、1000年の人の支援 連びを受け、1000年の人の支援 連びを受け、1000年の人の支援 連びを受け、1000年の人の支援 連びを受け、1000年の人の支援 連びを受け、1000年の人の支援 連びを受け、1000年の人の事態 2000年の人の主義を、1000年の事態 2000年の人の支援 連びを受け、1000年の人の事態 2000年の人の支援 2000年の人の大変を 2	認知をサポーター最高構造を連着者 1500人が毎間干減な空底東 1 別知をサポータースケップアプライ研修業権のうち。高知中は他のペデンティア登録した総人数 90人 2年間(千歳32年度末) 4 2年間(千歳32年度末) 4 記事に自然業をはまた。14年日の設置 39年14年度な年度素) 認知を自然業とはデーム角が名のうち。在意識技術の高か 90%(各年度) 現知を力工開催が廃棄 27分所(平成32年度末) 現知を力工開催が廃棄 27分所(平成32年度末) 現実の受力情報がいるっても受して乗りに対する支援。 入・退除的の病院からアフネシャーへの紙面引機ぎ 90%(平成32年度] 高度機関が在電影がと行った作者、600代(平成31年) (3安ひして暮らし様けられるための専門を守る支援。)	3.0.といによって表でして高い。上野いたちで発生、 ・少と当の方法となる場合としてより、機能を実施、受験状態を書だけでなく安否経歴を実われ、思やいた思やりを実施。 ・少とは当しの支援・実施金融を含む・とくの機能とよります。 ・少とは当しの支援・実施金融とステムと安心機能による見守い、ワンコインサービス事業機能による間りとで無実生産業施。 ・少とは当しの支援・実施金融とステムと安心機能による見守い、ワンコインサービス事業機能による間りとで無実生産業施。 ・設施を書表されらが必要はません。 ・製地をデーター・表述第三人・アンフィアが多年を生態を実現との対象を発展・、非常を性影地を、高級事業を性影地変を受かった。 ・製地を行っていたない、「中国・製造館」ステップアン万様を生態で展響。・影響を世影地は高級事業を性影地変を発し、一大・メーターを連携。 ・製地を自然の展布機能及制度 1893 (4 保護30年6月30日音)。 影地をサーバス・支援18 (4 保護30年7日 日本) ・製地の企成を目指し、作成・ステンプアンブ格を受機を対している。 大きない は、一大・ステンプアンブ格を受機を対した。 大きない は、日本・大きない は、日本・大き		30と対応なても安心して事品を対すれる支援: 東京状态が悪化した高齢者の早期発見が開題。各機関等との連 連かの表 いかに入れていか一会員数の中間外見が可能した材積保への 協力を行う。マイスマルにであるに基付される支援: は20世紀にサイン・メイデンアンで対象への登録者数をさらに増や すため、空識しやすい場合としるようエエ大が必要。 開選しかすい場合としるようエエ大が多。 関連しまりでは要は一人の配置し、増生的を支援センター再 関連の妻がは対応しているものと、「事的し続けられる支援・ での実施が表現している。 であると、「また」というでは、 であると、「また」というでは、 であると、「また」というでは、 「海や役員利用役差基本計画(国)ともした、本市も計画を策定する の、二マインを対象を計が必要。 「本代表している」というでは、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は特別は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在令への名」は、 「現在への名」は、 「現在へへの名」は、 「現在へへの名」は、 「現在へへの名」は、 「現在への名」は、 「現在へへの名」は、 「現在へのる。 「現在へのる。 「見る。 「見る。 「見る。 「見る。 「見る。 「見る。 「見る。 「見
高失	市 ②給付化	参様なサービスを効果的に受けられる	①多様な主体との考え方や方向性の共有: 情報の共和化の財産。自立文授の関係投递 企場は高額会変性シケーの関係場合性 助域高級者交通センサーの開係場合性 1度表のインステムを活用した関係共有・地域分析の促進。介護統付等に要する費用にかかる適正化事業 の実施	①多様在主身との考え方や方向性の弄着: 関係機能との物報共和化システムの構築 構設[平成324度末] 力機度発酵機度や砂度高齢計会の設施、自立支援に関する各条回数 200回/3年間[平成32年度 東 大規模を開放して砂度の高齢計会の設施。 取出すつき脂肪を対している。 可能力を対して、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	3 季様な主体との考え方や方向性の共有: ・情報の大者化の発表・社会資源情報の記載と情報共有のための方法について、平成11年度に検討。 (情報の日廷系統、ボランディア語は、非常財物等の内有を包定)。 ・自立文域の意態発生、清章・出間調度等を主に、起言設計をの設けやう理保険制度について研修実施。 ・自立文域の意態発生、清章・出間調度等を主に、起言設計をの設けやう理保険制度について研修実施。 ・自立文域の意態発生、清章・出間調度等を主に、起言設計をの設けやう理保険制度について研修実施。 ・方型保険制度や今後の起声部社会の現状、自立支援に関する音楽型数 38回(平成31年1月末時点) 2 地域高齢を支援化・クーの機能を化・ ・受したり所、重定立地の切けはか用の方域和設定技化・ケーに再編・法化するため準備を推進。 ・・受したり所、重定立地の切けはか用の方域和設定技化・ケーに再編・法化するため準備を推進。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3	①多様な主体との考え方や方向性の共有: ・社会資源制制の記憶・书名において、地域活動団体等への開始・ 料用用力はの整理が必要、小は書目の開催数を増やす必要がある ・地温楽的社会の現代等について、計書の制度を増やす必要がある ・地温楽的とはシーの機能を他: ・地域自然支援センターの機能を他: ・地域自然支援センターの機能を他: ・地域自然支援センターでの服員を修事において、限られた期間で 機会の質の上に対める必要がある。 ・地域自然支援センターでの服員を修事において、提られた期間で 機会の質の上に対める必要がある。 ・地域自然支援やことのであると思うが、 ・地域自然を表現していて、指導担急援等との情報連携をごとらなる活用が必要。